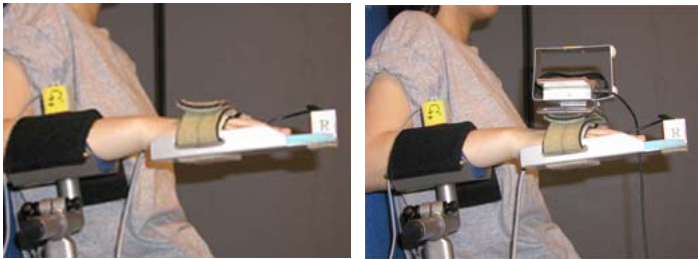
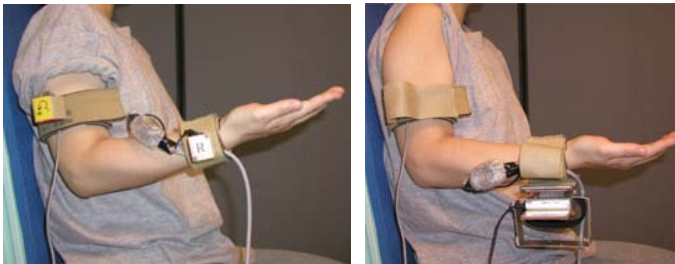
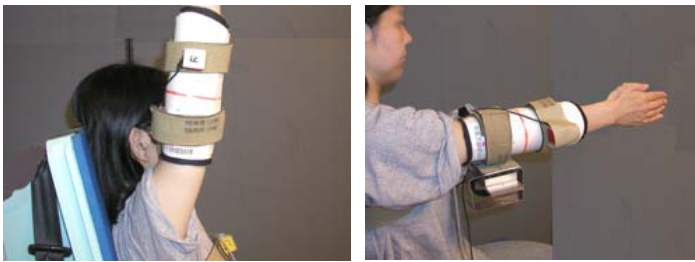
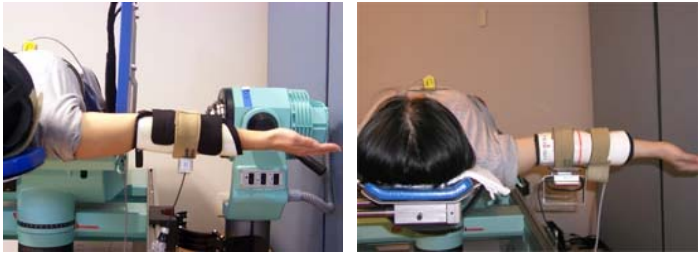
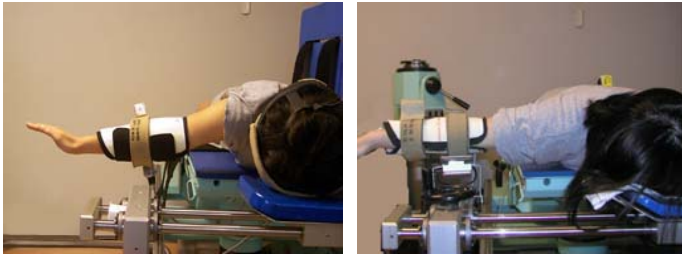
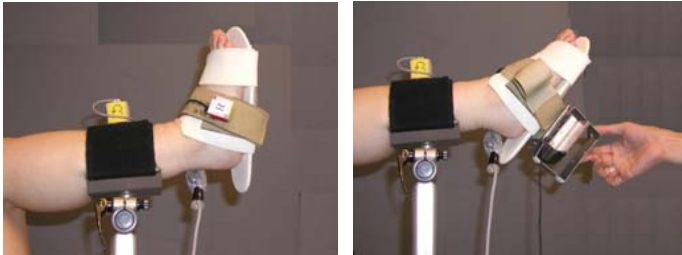
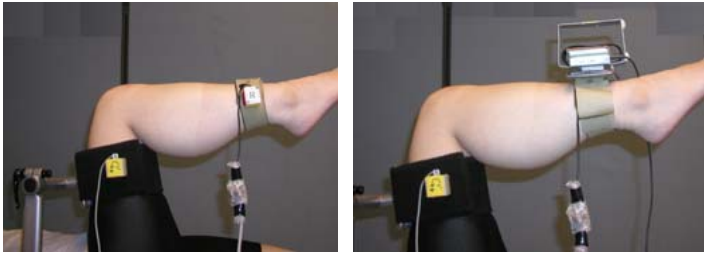
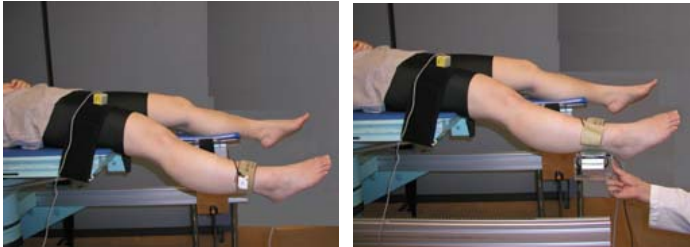
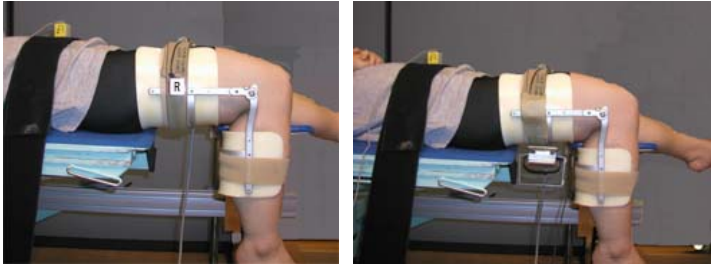
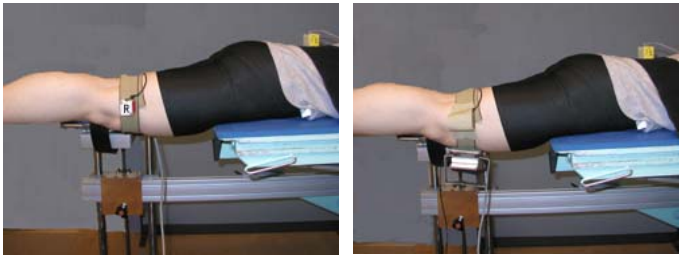
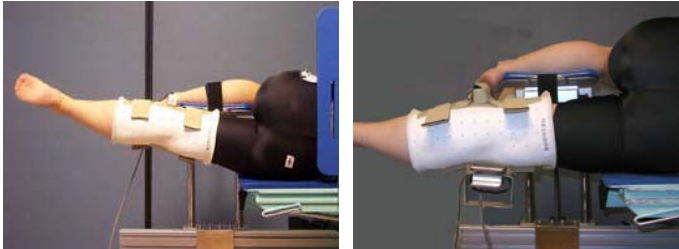


関節自動可動域及び関節受動抵抗計測方法【追加情報】:

部位	計測条件
【手関節】	手関節背屈(伸展)・掌屈(屈曲)においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を固定板の上に装着することとした。 
【肘関節】	肘関節屈曲・伸展においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を前腕の外側面に装着することとした。 
【肩関節】 一屈曲・伸展一	肩関節屈曲伸展においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を上腕の外側面に装着することとした。 

部位	計測条件
【肩関節】 ー水平屈曲ー	肩関節水平屈曲においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を上腕の下面に装着することとした。 
【肩関節】 ー水平伸展ー	肩関節水平伸展においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を上腕の上面に装着することとした。 
【足関節】	足関節背屈(伸展)・底屈(屈曲)においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を足部の外側面に装着することとした。 

部位	計測条件
【膝関節】 ー 屈曲 ー	膝関節屈曲においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を下腿の外側面に装着することとした。 
【膝関節】 ー 伸展 ー	膝関節伸展においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を下腿の外側面に装着することとした。 
【股関節】 ー 屈曲 ー	股関節屈曲においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を大腿の外側面に装着することとした。 

部位	計測条件
【股関節】 ー 伸展 ー	股関節伸展においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を大腿の外側面に装着することとした。 
【股関節】 ー 内転 ー	股関節内転においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を大腿の上に装着することとした。 
【股関節】 ー 外転 ー	股関節外転においては、自動可動域と受動抵抗計測を、その都度可動側傾斜計を取り外すことなく、一連で計測できるように、可動側傾斜計を大腿の上に装着することとした。 